

管理者からの
ご挨拶



土岐市長
加 藤 淳 司

東濃中部病院事務組合管理者 土岐市長 加藤淳司です。広報誌「新病院建設だより」を発刊するにあたり、ご挨拶申し上げます。

土岐市、瑞浪市では、2 地域における継続的・安定的な医療を提供するために、土岐市立総合病院と JA 岐阜厚生連が運営する東濃厚生病院を統合し、新たな病院を建設すべく、令和 3 年 6 月に東濃中部病院事務組合を設立いたしました。令和 4 年 4 月には、基本構想・基本計画を策定、同年 12 月には設計施工一括方式による業者選定を行うなど、スピード感を持って今日まで各種事業を進めてきております。

そして、令和 5 年 2 月 23 日には新病院建設地において造成工事の安全祈願祭を開催し、関係者約 50 名に参加していただきました。

約 3 年後には土岐市、瑞浪市を始めとする東濃中部地域はもちろんのこと、東濃圏域において 30 年、40 年先の医療を見据えた、2 次医療が完結できる 400 床規模の新病院を開院する予定です。「あの病院に行けば、安心だ。」と言われるよう、地域の皆様にとって拠り所となるような病院を目指して、事業を進めて参ります。住民の皆様におかれましては、引き続き、新病院建設にご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

副管理者からの
ご挨拶



瑞浪市長
水 野 光 二

東濃中部病院事務組合副管理者 瑞浪市長 水野光二です。広報誌発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

平成 28 年度より検討を行ってきた土岐市立総合病院と東濃厚生病院の 2 病院統合による新病院建設事業について、造成工事が始まりました。今後は、令和 8 年 2 月の開院に向けて着実に事業を進めていきたいと思います。

全国的に少子高齢化が進んでいる状況の中、土岐市及び瑞浪市において産科が無く、出産のために遠方の病院へ通わざるを得ないことは、両市の人口減少の要因の一つでもあり、大きな課題となっています。

また、新病院までの移動手段についても、住民の皆様が心配されている事項であり、特に瑞浪市においては、市内に二次救急病院が無くなるため、移動手段の確保は重要な課題であると認識しています。

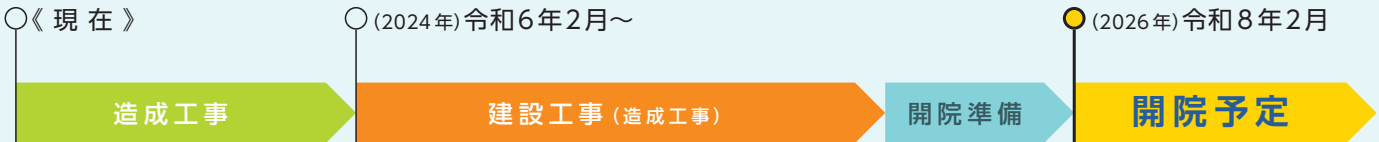
これらの課題を解決するためにも、指定管理者として予定している JA 岐阜厚生連と共に協議を進め、住民の皆様から頼っていただける病院を目指して参りますので、新病院建設に向けて、ご理解、ご協力賜りますようお願い致します。

現在の新病院建設地の様子 (令和 5 年 4 月 21 日時点)

雑木の伐採作業が完了し、令和 5 年 2 月より造成工事が始まりました。
現在は切盛土工、防災工を実施しており、約 5ha の宅地を整地します。



造成工事
進捗率
16 %



新病院の概要

基本理念

地域住民の「頼りがいのある病院」を目指します。

基本方針

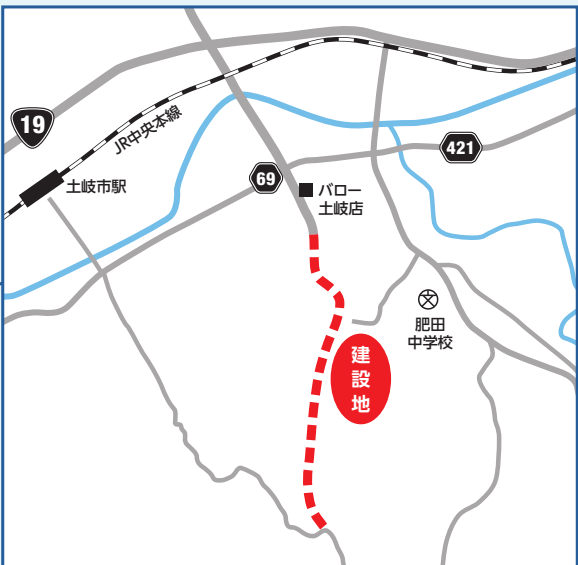
- ① 患者さんの人権を尊重し良質で安心安全な医療を提供します。
- ② 地域社会から信頼される医療を行います。
- ③ 医療の発展に貢献できる病院を目指します。

【診療科 (想定)】

内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／腎臓内科／神経内科
糖尿病・内分泌内科／血液内科／皮膚科／リウマチ・アレルギー科
小児科／精神科／外科／血管外科／泌尿器科／脳神経外科
整形外科／眼科／耳鼻咽喉科／産婦人科／リハビリテーション科
放射線科／麻酔科／病理診断科／救急科／歯科口腔外科

〔建設位置〕

新病院は、土岐市・瑞浪市中心部の概ね中間地点とし、土岐市肥田町浅野地内に建設予定です。



〔外観イメージ〕

